

第70回セメント技術大会

～ プログラム ～

日 時：	2016年5月10日(火)	9：30～16：15	研究発表
	11日(水)	9：15～12：00	研究発表
		13：15～15：00	論文賞表彰式
		15：15～16：15	特別講演 1
		16：30～18：00	特別講演 2
		18：15～19：45	懇談会
	12日(木)	9：00～15：45	研究発表

会 場： ホテルメトロポリタン

聴 講： 無料（受付にて入場確認をさせていただきます）

講演要旨： 印刷版・CD-ROM版：各 定価5,130円（本体4,750円＋税380円）

書籍とCDをセットでお求めの場合は定価8,208円（本体7,600円＋税608円）

※大会終了日までは特別価格にて販売いたします（書店でお求めの場合は定価となります）

【印刷版・CD-ROM版：各5,000円（税込み）、セット8,000円（税込み）】

4月下旬発行予定

※本大会は土木学会認定CPDプログラムです

一般社団法人 セメント協会

東京都中央区日本橋本町1丁目9番4号

☎ 103-0023 TEL. 03-5200-5051

研究所

東京都北区豊島4丁目17番33号

☎ 114-0003 TEL. 03-3914-2692（技術情報グループ）

第70回セメント技術大会 研究発表スケジュールおよび司会者一覧

〔敬称略〕

開催日	会場	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	19:30	20:00	
大会 1日目 5月10日 (火)	第1会場 富士A			セメントの水和 (6件) No.1101~1106 日本大学 三五 弘之 (株)トクヤマ 茶林 敬司	休憩	セメントの水和 (5件) No.1107~1111 帝京科学大学名誉教授 住友大阪セメント(株) 狩野 和弘	委員会 報告 セメント 化学専門 委員会		昼休み (55分)		コンクリートの診断・補修 (6件) No.1112~1117 日本大学 湯浅 昇 三菱マテリアル(株) 徳永 健二	休憩	コンクリートの 診断・補修 (3件) No.1118~1120 東京理科大学 住友大阪セメント(株) 中村 土郎												
	第2会場 富士BC			セメント、モルタルの性質と物性 (6件) No.1201~1206 島根大学 新 大軌 (株)トクヤマ 国居 新	休憩	セメント、モルタルの性質と物性 (6件) No.1207~1212 日本大学 大宅 淳一 宇部興産(株) 伊藤 貴康		昼休み (60分)		セメント、モルタルの性質と物性 (6件) No.1213~1218 芝浦工業大学 伊代田 岳史 太平洋マテリアル(株) 中島 裕	休憩	環境・リサイクル (3件) No.1219~1221 日本大学 住友大阪セメント(株) 小田部 裕一													
	第3会場 富士D			混合セメント・混合材 (6件) No.1301~1306 前橋工科大学 佐川 孝広 住友大阪セメント(株) 大野 晃	休憩	混合材 (6件) No.1307~1312 太平洋セメント(株) 細川 佳史 (株)デイ・シイ 二戸 信和					材 料 (化学混和剤・骨材) (5件) No.1313~1317 首都大学東京 上野 敦 BA SFジャパン(株) 井元 晴丈	休憩	フレッシュコンクリート (流動性) (4件) No.1318~1321 群馬大学 小澤 満津雄 BASFジャパン(株) 菅俣 匠												
大会 2日目 5月11日 (水)	第1会場 午前：富士A 午後：富士AB		セメント製造技術・ クリンカー鉱物 (4件) No.2101~2104 太平洋セメント(株) 内藤 浩一 宇部興産(株) 宮下 裕之	休憩	分析技術 (6件) No.2105~2110 山口大学名誉教授 後藤 誠史 三菱マテリアル(株) 山下 牧生		昼休み・会場設営 (75分)		13 : 15~15 : 00		休憩	15 : 15~16 : 15	特別講演 1 セメント産業の現状と将来像 株式会社日本政策投資銀行 産業調査部長 川住昌光氏	休憩	16 : 30~18 : 00	特別講演 2 これからのインフラ整備の重要性 国立研究開発法人土木研究所 理事長 魚本健人氏	休憩								
	第2会場 午前：富士BC		コンクリートの物性 (膨張・収縮) (6件) No.2201~2206 横浜国立大学 細田 暁 三菱マテリアル(株) 中山 英明	休憩	コンクリートの物性 (ひび割れ・クリープ) (4件) No.2207~2210 埼玉大学 浅本 晋吾 太平洋セメント(株) 谷村 充					セメント協会挨拶 論文賞表彰式 論文賞 受賞者記念講演															
	第3会場 午前：富士D 懇親会：富士CD		コンクリートの試験方法、 コンクリート製品 (6件) No.2301~2306 名古屋大学 丸山 一平 (株)太平洋コンサルタント 小川 彰一	休憩	委員会 報告 セメント系 固化材 技術専門 委員会 セメント系固化材 (2件) No.2307~2308 広島大学 半井 健一郎 三菱マテリアル(株) 清田 正人																				
大会 3日目 5月12日 (木)	第1会場 富士A		コンクリート舗装 (5件) No.3101~3105 東京農業大学 小梁川 雅 三菱マテリアル(株) 黒岩 義仁	休憩	コンクリート舗装 (5件) No.3106~3110 太平洋セメント(株) 梶尾 聡 宇部興産(株) 吉田 浩一郎		昼休み (60分)		特殊コンクリート (7件) No.3111~3117 日本大学 佐藤 正己 新潟大学 齋藤 豪																
	第2会場 富士BC		耐久性 (塩害・鋼材腐食) (5件) No.3201~3205 東京理科大学 今本 啓一 住友大阪セメント(株) 山本 誠	休憩	耐久性 (塩害・鋼材腐食) (5件) No.3206~3210 東京大学 高橋 佑弥 デンカ(株) 宮口 克一				委員会 報告 コンク リート 専門 委員会 耐久性 (塩害・鋼材腐食) (6件) No.3211~3216 東京理科大学 加藤 佳孝 デンカ(株) 樋口 隆行	休憩	耐久性 (中性化・ASR) (4件) No.3217~3220 太平洋セメント(株) 河野 克哉 住友大阪セメント(株) 上原 伸郎														
	第3会場 富士D		コンクリートの施工 (5件) No.3301~3305 太平洋セメント(株) 小川 洋二 宇部興産(株) 大和 功一郎	休憩	耐久性 (凍結融解) (5件) No.3306~3310 岩手大学 小山田 哲也 日鉄住金高炉セメント(株) 大塚 勇介					委員会 報告 コンク リート 専門 委員会 耐久性 (凍結融解) (4件) No.3311~3314 三菱マテリアル(株) 高尾 昇 住友大阪セメント(株) 齋藤 高	休憩	耐久性 (化学的浸食・溶脱) (7件) No.3315~3321 (一財)電力中央研究所 蔵重 勲 大成建設(株) 大脇 英司													

備考 (1) 時間帯は、概略の時刻を示しております。発表は、1件当たり4分間の質疑応答を含め、14分間の予定です。
 (2) それぞれのセッションのテーマ名は、発表内容の概要を示したもので、プログラム編成上の都合により、発表内容と一致しない場合があります。

5月10日(火)

第1会場

第2会場

注：○印は講演者、*印は「セメント協会研究奨励金」関連研究を示す

9：30～11：00 セメントの水和

[研究発表 1101～1106]

1101. 有機化合物のカルシウム/珪酸錯体形成能がC₃Sの水和反応に及ぼす影響

花王株式会社 ○川 上 博 行
長 澤 浩 司
佐 川 桂 一 郎

1102. 多様な廃棄物を利用したセメント中の少量・微量成分がC₃Sの初期水和に与える影響

太平洋セメント株式会社 ○曾 我 亮 太
Paige Merko
林 建 佑
内 田 俊 一 郎

1103. ショ糖の添加がC₃Sの水和反応機構へ及ぼす影響

北海道大学大学院 ○小 山 達 也
森 永 祐 加
北海道大学 朴 峻 範
北海道大学大学院 名 和 豊 春

1104. 養生温度がフライアッシュのポゾラン反応におよぼす影響

日本大学 ○佐 藤 正 己
入 江 正 明
小 泉 公 志 郎
梅 村 靖 弘

1105. 高炉スラグ高含有セメントの水和に及ぼす養生温度の影響

株式会社アイ・シー ○二 戸 信 和
東京工業大学大学院 西 村 幸 恵
相 川 幸 豊
坂 井 悦 郎

1106. 高温乾燥養生がセメントペースト固化体へ及ぼす影響

東京工業大学大学院 ○山 本 祐 介
国立研究開発法人物質・材料研究機構 土 谷 浩 一
東京工業大学大学院 坂 井 雅 浩
悦 郎

9：30～11：00 セメント、モルタルの性質と物性

[研究発表 1201～1206]

1201. セメント系硬化体の電気抵抗に及ぼす諸要因に関する実験的検討

長崎大学大学院 ○佐々木 謙 二
長崎大学 宮 本 尚 卓
長崎大学大学院 原 田 哲 夫

1202. カルシウム溶脱がフライアッシュセメント硬化体の塩化物イオン吸着性能に及ぼす影響

北海道大学大学院 ○宮 本 正 紀
杉 山 卓 也
胡桃澤 清 文
名 和 豊 春

1203. フライアッシュセメント硬化体の塩化物イオンの拡散係数予測

北海道大学 鈴 木 麟 太 郎
北海道大学大学院 ○宮 本 正 紀
胡桃澤 清 文
名 和 豊 春

1204. 水和物の物性を考慮したポルトランドセメントーアルミナセメントー無水石膏系セメント材料の圧縮強さ発現モデルの検討

宇部興産株式会社 ○森 裕 克
伊 藤 貴 康
高 橋 俊 之 郎
坂 井 悦 郎

1205. CaO・2Al₂O₃の水和活性に及ぼすFe₂O₃固溶量の影響

デンカ株式会社 ○藏 本 悠 太
森 泰 一 郎
荒野 憲 之
盛 岡 実

1206. 炭酸化反応した低熱ポルトランドセメント - CaO・2Al₂O₃ - 膨張材系セメント硬化体の性質

東京工業大学大学院 ○新 杉 匡 史
島根大学大学院 新 大 軌
デンカ株式会社 樋 口 隆 行
東京工業大学大学院 坂 井 悦 郎

〈休憩 11：00～11：15〉

〈休憩 11：00～11：15〉

5月10日(火)

第1会場

11:15~12:30 セメントの水和

[研究発表 1107~1111]

*1107. 乾燥条件および温度履歴がエトリンガイト結晶中の水分状態に及ぼす影響

新潟大学 ○野 澤 里 渚子
斎 藤 豪
新潟大学大学院 佐 藤 賢之介
新潟大学 佐 伯 竜 彦

1108. Ca-Al層状複水酸化物へのポリカルボン酸系分散剤の吸着・収着メカニズムの解明

北海道大学大学院 山 本 崇 人
北海道大学 ○毛 利 真 明
北海道大学大学院 森 永 祐 加
名 和 豊 春

1109. Impact of two types of calcium silicate hydrate on drying shrinkage of Portland cement paste

Nagoya University ○Tatsuya Haji
Shu Kotera
Ryo Kurihara
Ippei Maruyama

1110. ²⁷Al MAS-NMR及びXRD・Rietveld法によるC₃A-Ca(OH)₂-Gypsum系の水和反応解析

北海道大学大学院 ○石 川 玲 奈
名 和 豊 春
植 田 晃 平

1111. ²⁷Al MAS-NMR及びXRD・Rietveld法によるC₃A-Ca(OH)₂-Gypsum系の非晶質成分の同定

北海道大学 ○梶 尾 知 広
北海道大学大学院 名 和 豊 春
植 田 晃 平

12:30~12:50 委員会報告
セメント化学専門委員会

<昼休み 12:50~13:45>

第2会場

11:15~12:45 セメント、モルタルの性質と物性

[研究発表 1207~1212]

1207. 合成C-(A)-S-Hへのアルカリ金属 (Na) の収着に関する検討

株式会社太平洋コンサルタント 芳 賀 和 子
○原 澤 修 一
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 渡 邊 禎 之
国立研究開発法人国立環境研究所 山 田 一 夫

1208. C-S-H agglomeration process in the first desorption process in cement paste interpreted from ¹H NMR relaxometry

Nagoya University ○In gi J a n g
Daichi Hashimoto
Ippei Maruyama

1209. 第一原理計算によるトバモライト結晶構造の解析: AI置換による結晶形状変化

旭化成ホームズ株式会社 ○松 井 久仁雄
旭化成株式会社 一 岡 優 里
夏 目 稜
松 野 信 也

1210. 間隙相量を増加させたセメントの高温練混ぜ時の流動性に関する研究

太平洋セメント株式会社 ○林 建 佑
曾 我 亮 太
内 田 俊 一 郎

1211. 練上がり温度および温度履歴がモルタルの強度、空隙構造および水和反応に与える影響

太平洋セメント株式会社 ○中 山 莉 沙
東 洋 輔
森 寛 晃
多 田 克 彦

1212. モルタルの初期強度発現に及ぼす養生温度の影響

東海大学 ○中 嶋 望
上 村 将 吾
丸 山 貴 吉
鶴見コンクリート株式会社 伊 達 重 之
東海大学

<昼休み 12:45~13:45>

第3会場

11:15~12:45 混合材

〔研究発表 1307~1312〕

1307. 木質バイオマス焼却灰のセメント混和材への適用

前橋工科大学	○佐川孝広
	北島和樹
	丹波広樹

1308. スラグ活性度指数に及ぼす化学組成の影響

宇部興産株式会社	○三隅英俊
	伊藤貴康
	高橋俊之

1309. Effects of Limestone Powder on Hydration and Expansion of Portland Cement Containing Expansive Additive

Tokyo Institute of Technology	○Pongpaisansree Kittisak
Denka Co.,Ltd.	Masataka Ushiro
	Takayuki Higuchi
Tokyo Institute of Technology	Etsuo Sakai

1310. Effect of nano-TiO₂ particles on the hydration and drying shrinkage of hardened cement paste

Nagoya University	○Ryo Kurihara
	Ippei Maruyama

1311. フライアッシュのメチレンブルー吸着量に及ぼす明度の影響

三菱マテリアル株式会社	○土肥浩大
	山根康隆
	山下牧生
	伊藤公範

* 1312. 高炉スラグ微粉末の還元効果及び水和物による早期六価クロム抑制機構

東京理科大学	○文野光
Hanyang University	Bae Sung chul
東京理科大学	兼松学
JFEミネラル株式会社	吉澤千秋

〈昼休み 12:45~13:45〉

5月10日(火)

第1会場

13:45~15:15 コンクリートの診断・補修

[研究発表 1112~1117]

1112. 火害を受けた高強度コンクリートの塩化物イオンの見かけの拡散係数による耐久性評価に関する基礎的研究

群馬大学 ○鉄 羅 健 太
群馬大学大学院 小 澤 満津雄
八戸工業大学大学院 迫 井 裕 樹
株式会社ピーエス三菱 藤 本 謙太郎

1113. コンクリートの内部探査を目的とした空中超音波法の適用性

愛知工業大学大学院 ○関 俊 力
愛知工業大学 瀬 古 繁 喜
山 田 和 夫

1114. 高温加熱を受けたコンクリートの性能回復に関する実験的考察 その6. 表面湿潤再養生後の耐凍害性(普通コンクリート)

山口大学大学院 ○李 柱 国
一般財団法人建材試験センター 流 田 靖 博

1115. 高温加熱を受けたコンクリートの性能回復に関する実験的考察 その7. 表面湿潤再養生後の耐凍害性(高強度と高強度繊維コンクリート)

山口大学大学院 ○李 柱 国
一般財団法人建材試験センター 流 田 靖 博

1116. 高温加熱を受けたコンクリートの性能回復に関する実験的考察 その8. 内部構造の変化

山口大学大学院 李 柱 国
一般財団法人建材試験センター ○北 田 達 也
流 田 靖 博 杉 原 大 祐

1117. 高温加熱を受けたコンクリートの性能回復に関する実験的考察 その9. 化学組成の変化

山口大学大学院 李 柱 国
一般財団法人建材試験センター ○北 田 達 也
流 田 靖 博 杉 原 大 祐

第2会場

13:45~15:15 セメント、モルタルの性質と物性

[研究発表 1213~1218]

1213. 強制炭酸化したセメント硬化体の受熱後の水和挙動

デンカ株式会社 ○庄 司 慎
盛 岡 実
東京理科大学 清 原 千 鶴
今 本 啓 一

1214. γ -2CaO・SiO₂を混和した急硬セメント硬化体の炭酸化反応

デンカ株式会社 ○宇 城 将 貴
樋 口 隆 行
荒 野 憲 実
盛 岡 之 実

1215. コンクリート用膨張材に含まれる遊離石灰の高温炭酸化反応

デンカ株式会社 ○樋 口 隆 行
盛 岡 美 豊
東京工業大学大学院 相 川 悦 郎
坂 井

1216. 超臨界CO₂環境下での強度増加に与える水セメント比の影響

東京大学大学院 ○岩 屋 希
石 田 哲 也
追 立 賢 太

1217. カルシウムアルミネート骨材を用いたモルタルのフレッシュ性状と強度発現性

デンカ株式会社 ○原 啓 史
樋 口 隆 行
盛 岡 美 平
丸 山 一

1218. モルタルの長さ変化率におよぼすカルシウムアルミネート骨材の影響とその機構

デンカ株式会社 ○原 啓 史
庄 司 慎
盛 岡 実
丸 山 一 平

<休憩 15:15~15:30>

<休憩 15:15~15:30>

第3会場

13:45~15:00 材料(化学混和剤・骨材)

〔研究発表 1313~1317〕

1313. 亜硝酸リチウムによるセメント組成物の耐久性向上に関する一考察

立命館大学大学院	田 口 壮 年
日産化学工業株式会社	須 藤 裕 司
一般財団法人日本建築総合試験所	吉 田 夏 樹
立命館大学	○岡 本 享 久

1314. 官能基量の異なるポリカルボン酸系分散剤を添加した低水粉体比セメントペーストの流動性

東京工業大学大学院	○島 崎 大 樹
株式会社日本触媒	川 上 宏 克
東京工業大学大学院	坂 井 悦 郎

1315. 原子間力顕微鏡を用いたアルミナ表面におけるグラフトポリマーの吸着層厚の観察

北海道大学大学院	○田 中 健 貴
	安 藤 雅 将
	名 和 豊 春

1316. 表面改質による高炉スラグ細骨材の物理化学特性と高強度モルタルの初期性状

北海道大学大学院	○橋 本 勝 文
	上松瀬 慈
	Henry Michael
	横 田 弘

1317. Electron irradiation-induced density change of natural rock minerals, α -quartz, orthoclase, and muscovite

Nagoya University	○Ippei Maruyama
	Shunsuke Muto

〈休憩 15:00~15:15〉

5月10日(火)

第1会場

15:30~16:15 コンクリートの診断・補修

[研究発表 1118~1120]

1118. 床版上面断面修復用超速硬コンクリートの配合検討

株式会社トクヤマ ○松村泰徳
古川祐介
株式会社トクヤマエムテック 古城誠
末益大祐

1119. 道路橋床板における非破壊診断を想定した腐食判定について

北海道大学 ○村上竜裕
北海道大学大学院 桃野英太郎
杉山隆文
Idrees Zafar

1120. コンクリート高架橋の変状未発生部位の劣化リスク評価に向けたかぶりの重要性に関する一検討

東日本旅客鉄道株式会社 ○阿部陸樹
東京大学生産技術研究所 岸利治

第2会場

15:30~16:15 環境・リサイクル

[研究発表 1219~1221]

1219. 天然ゼオライトと酸化チタン粉末を用いたモルタル基盤材料の電気抵抗率と配合

秋田大学大学院 ○勝間田成
鈴木信一郎
関西大学 徳重英信
高橋智幸

1220. 複合リサイクル材料を有効利用したモルタルの性能に関する2、3の検討

宮崎大学 伊達周平
内田翔太
○李春鶴
亀井健史

1221. 早強セメントと高炉スラグ微粉を併用した高炉セメントの物性とエコロジカル評価

デンカ株式会社 ○寺内貴史
田原和達
飯盛岡郎実

(終了 16:15)

(終了 16:15)

第3会場

15:15~16:15 フレッシュコンクリート (流動性)

〔研究発表 1318~1321〕

1318. Al_2O_3 粒子表面の活性サイトが楕形高分子の吸着挙動に及ぼす影響

北海道大学 北海道大学大学院	○葛 間 夢 輝 安 藤 雅 将 田 中 健 貴 名 和 豊 春
-------------------	---

1319. 周波数の異なる振動下におけるモルタルのレオロジー特性に関する基礎的検討

東海大学大学院 東海大学 株式会社フジタ 東海大学	○齋 藤 拓 弥 大八木 雅 人 藤 倉 裕 介 伊 達 重 之
------------------------------------	---

1320. レオロジー定数による間隙充填モルタルの流動時材料分離抵抗性評価

首都大学東京	○艾爾肯 艾麗菲拉 笠 井 一 成 宇 治 公 隆 上 野 敦
--------	--

1321. 温度環境がセメントペーストおよびコンクリートの流動性に及ぼす影響

琉球大学大学院 琉球大学 太平洋セメント株式会社	○上 原 義 己 山 田 義 智 崎 原 康 平 細 川 佳 史
--------------------------------	---

(終了 16:15)

5月11日(水)

第1会場

9:15~10:15 セメント製造技術・クリンカー鉱物

[研究発表 2101~2104]

2101. 高温X線回折を用いたクリンカー原料の焼成反応性評価の検討

三菱マテリアル株式会社 ○白濱暢彦
山下牧生
田中久順

2102. キルン内クリンカ温度計測技術の開発

三菱マテリアル株式会社 ○高山佳明
山本光洋
高山裕和
高山佳典

2103. X線回折/PONKCS法を用いた高炉セメント中のスラグ混合率定量および工場オンライン自動分析システムへの適用

太平洋セメント株式会社 ○引田友幸
扇嘉史
大野麻衣子
池田澄人

2104. CaO・2Al₂O₃の合成に及ぼすFe₂O₃固溶量の影響

デンカ株式会社 ○石井泰寛
電化新材料開発(蘇州)有限公司 森泰一郎
デンカ株式会社 樋口隆
盛岡 行実

第2会場

9:15~10:45 コンクリートの物性(膨張・収縮)

[研究発表 2201~2206]

2201. 合成エトリンガイトの体積変化と水蒸気吸着性状に関する一考察

東北大学 ○赤羽根駿之介
東北大学大学院 五十嵐豪
西脇智哉
名古屋大学大学院 丸山一平

2202. 膨張材併用軽量コンクリートのフレッシュ性状と膨張特性に関する検討

首都高速道路株式会社 ○岸田政彦
東京大学生産技術研究所 岸利治
首都高速道路株式会社 副島直史
株式会社横河ブリッジ 宮井大輔

2203. Moisture movement and resultant shrinkage in slab exposed to indoor and outdoor environments

Nagoya University ○Shu Kotera
Tomoya Sakaida
Ippei Maruyama
NIPPO CORPORATION Kenji Shichiri

2204. 収縮低減剤を用いたコンクリートの収縮・クリープ特性に関する検討

太平洋セメント株式会社 ○大野拓也
三谷裕二
株式会社太平洋コンサルタント 石井祐輔
名古屋大学大学院 丸山一平

2205. セメントモルタルの初期収縮挙動に及ぼす攪拌作用の影響

宇部興産株式会社 ○高橋恵輔
Technische Universität Freiberg Bier Thomas

2206. セメントモルタルの初期収縮挙動に及ぼす収縮低減剤の影響

宇部興産株式会社 ○高橋恵輔
松本油脂製薬株式会社 青木貴之

<休憩 10:15~10:30>

<休憩 10:45~11:00>

第3会場

9:15~10:45 コンクリートの試験方法、コンクリート製品

〔研究発表 2301~2306〕

2301. 極若材齢を含むコンクリート強度発現式の検討

太平洋セメント株式会社	○吉 光	涼
	扇 嘉	史
	早 川	隆
	谷 村	充

2302. 電気伝導率計を用いた圧縮強度推定メカニズムの検討

芝浦工業大学大学院	○太 田 真 帆
芝浦工業大学	寺 内 和 子
	伊代田 岳 史

2303. フレッシュコンクリートと硬化コンクリートの気泡測定に関するばらつきの評価

BASFジャパン株式会社	○作 榮 二 郎
鹿島建設株式会社	橋 本 学
株式会社フローリック	西 祐 宜
山宗化学株式会社	星 和 英

2304. 誘電緩和測定によるコンクリート粗骨材界面の情報の取得

北海道大学大学院	○福 山 智 子
	岡 本 祐 輝
	長谷川 拓 哉
	千 歩 修

2305. 製造時期および剥離剤の種類がPCa製品の明度に及ぼす影響

住友大阪セメント株式会社	○齋 藤 尚
丸栄コンクリート工業株式会社	石 黒 憲 司
住友大阪セメント株式会社	中 上 明 久
東洋大学	福 手 勤

2306. プレキャストコンクリート製品における色差の許容範囲について

住友大阪セメント株式会社	○中 上 明 久
丸栄コンクリート工業株式会社	石 黒 憲 司
住友大阪セメント株式会社	齋 藤 尚 勤
東洋大学	福 手 勤

〈休憩 10:45~11:00〉

5月11日(水)

第1会場

10:30~12:00 分析技術

[研究発表 2105~2110]

2105. セメント硬化体の電気伝導性に及ぼすフライアッシュの影響

北海道大学大学院 ○胡桃澤 清 文
名 和 豊 春

2106. X線吸収微細構造を用いたセメント硬化体中の微量元素の定量評価

日鉄住金高炉セメント株式会社 ○平 本 真 也
大 塚 勇 介
木 山 将 一
植 木 康 知

*2107. セメントペースト硬化体における塩化物イオンの移行・拡散・吸着現象と空隙構造の関係に関する一考察

名古屋工業大学 ○井 上 裕 介
名古屋工業大学大学院 吉 田 亮
東京大学生産技術研究所 岸 利 治
名古屋工業大学大学院 梅 原 秀 哲

*2108. セメントペースト硬化体における漸次繰返し法を用いた水銀圧入・水蒸気吸脱着履歴に関する一考察

名古屋工業大学大学院 ○吉 田 亮 介
名古屋工業大学 井 上 裕 治
東京大学生産技術研究所 岸 利 治
名古屋工業大学大学院 梅 原 秀 哲

2109. サーモポロメトリー法を用いた空隙構造測定に基づくフライアッシュセメント硬化体の物性評価

北海道大学 ○杉 山 卓 也
北海道大学大学院 宮 本 正 紀
胡桃澤 清 文
名 和 豊 春

2110. ¹H NMRと低温DSCを用いたセメント硬化体の細孔構造に関する研究

北海道大学大学院 ○森 永 祐 加
堀 江 和 諒
名 和 豊 春
宮 本 正 紀

〈昼休み 12:00~13:15〉

第2会場

11:00~12:00 コンクリートの物性
(ひび割れ・クリープ)

[研究発表 2207~2210]

2207. 非鉄スラグ細骨材を使用したコンクリートの収縮ひび割れ特性に関する実験的研究

東京理科大学大学院 ○原 品 武
東京理科大学 清 原 千 鶴
三和石産株式会社 金 子 宝 以
一般財団法人建材試験センター 真 野 孝 次

2208. Strength change in concrete exposed to high temperature in sealed condition

Nagoya University ○Kota OGAWA
Ippei MARUYAMA

2209. 1150℃までの高温履歴を受けたセメント硬化体の力学的性質とひび割れの関係に関する一考察

東北大学大学院 ○加 藤 優 志
五十嵐 豪
西 脇 智 哉

2210. 高温加熱を受けた材齢約30年のフライアッシュコンクリートのクリープ特性

東京理科大学大学院 ○清 敦 俊
東京理科大学 今 本 啓 一
清 原 千 鶴
群馬大学大学院 小 澤 満 津 雄

〈昼休み 12:00~13:15〉

第3会場

11:00~11:15 委員会報告
セメント系固化材技術専門委員会

11:15~11:45 セメント系固化材

[研究発表 2307~2308]

2307. 周辺土の含水比がセメント系固化材による改良体の強度特性へ与える影響

一般社団法人セメント協会 ○泉 尾 英 文
広島大学大学院 半 井 健 一 郎
株式会社デイ・シイ 齋 藤 和 彦

2308. セメント系固化材を用いた不溶化処理土の安定性に関する一考察—材齢の経過およびpHの変化による影響—

一般社団法人セメント協会 ○中 村 弘 典
太平洋セメント株式会社 松 山 祐 介
宇部三菱セメント株式会社 有 馬 克 則
日鉄住金セメント株式会社 酒 井 秀 一

(終了 11:45)

第1会場

13:15~15:00 セメント協会挨拶
論文賞表彰式
論文賞受賞者記念講演

〈休憩 15:00~15:15〉

15:15~16:15 特別講演1
セメント産業の現状と将来像
株式会社日本政策投資銀行 産業調査部長 川住昌光氏

〈休憩 16:15~16:30〉

16:30~18:00 特別講演2
これからのインフラ整備の重要性
国立研究開発法人土木研究所 理事長 魚本健人氏

第3会場

懇談会のご案内

第70回セメント技術大会の開催に当たり、参加各位の交流を目的に下記のとおり懇談会を開催いたします。
発表者・共同研究者および一般聴講者の方々にも広くご参加をいただきたくご案内申し上げます。

記

日時：5月11日(水) 18時15分~19時45分

場所：ホテルメトロポリタン(3階富士)

会費：無料

参加方法：・大会期間中に参加受付をされた方は、名札を付けたままご来場下さい。
・懇談会のみ参加を希望される方は、当日の参加受付をお願いします。

問合せ先：セメント協会 研究所 技術情報グループ

☎03-3914-2692 E-mail: jca_event@jcassoc.or.jp

5月12日(木)

第1会場

9:00~10:15 コンクリート舗装

〔研究発表 3101~3105〕

3101. 舗装用スリップフォーム工法に適したコンクリートの配合に関する一検討

一般社団法人セメント協会	○泉 尾 英 文
太平洋セメント株式会社	梶 尾 聡
大林道路株式会社	小 関 裕 二
全国生コンクリート工業組合連合会	山之内 康一郎

3102. スリップフォーム工法に適用された舗装コンクリートの実績調査報告

一般社団法人セメント協会	○島 崎 泰
東京農業大学	小梁川 雅
住友大阪セメント株式会社	高 山 和 久
日鉄住金セメント株式会社	阿 部 清

3103. 急カーブ・急勾配での早期交通開放型コンクリート舗装の施工報告

三菱マテリアル株式会社	○森 田 浩一郎
株式会社共同生コン	塩 谷 勝
東京舗装工業株式会社	山 村 鎮 久
	藤 崎 浩 美

3104. 早期交通開放型コンクリート舗装の基本特性に関する検討

太平洋セメント株式会社	○井 口 舞
	中 村 浩 章
	石 田 征 男
	十文字 拓

3105. 早強ポルトランドセメントと高炉セメントB種を混合した1DAY PAVEの検討

株式会社トクヤマ	○吉 本 慎 吾
	新 見 龍 男
	加 藤 弘 義

第2会場

9:00~10:15 耐久性(塩害・鋼材腐食)

〔研究発表 3201~3205〕

*3201. セメント硬化体中での高炉スラグ微粉末由来の還元性雰囲気鉄筋の腐食抑制に及ぼす影響に関する考察

京都大学大学院	○西 田 孝 弘
東京工業大学大学院	大 即 信 明

3202. セメントペースト中の鋼材腐食観察における非破壊CT-XRD連成法の適用について

北海道大学大学院	○高 橋 駿 人
	若 松 和 文
	杉 山 隆 子
	菊 池 玲 子

3203. 電気泳動法による塩化物イオンの実効拡散係数測定上の諸問題と解決法

北海道大学	○市 川 恒 樹
国立研究開発法人国立環境研究所	山 田 一 夫
株式会社太平洋コンサルタント	芳 賀 和 子
	小 川 彰 一

3204. 耐塩害・高耐久性混和材を用いた高炉セメントコンクリートの諸性状

宇部興産株式会社	○石 田 剛 朗
日本興業株式会社	大 和 功 一 郎
	山 地 功 二
	津 郷 俊 二

3205. Study on chloride ion penetration characteristic of concrete containing high-volume replaced blast furnace slag

新潟大学大学院	○Kamonratana Siriprapa
新潟大学	佐 伯 竜 彦
	斎 藤 豪
株式会社竹中工務店	辻 大 二 郎

〈休憩 10:15~10:30〉

〈休憩 10:15~10:30〉

第3会場

9:00~10:15 コンクリートの施工

[研究発表 3301~3305]

3301. 低温環境下におけるフライアッシュコンクリートのフレッシュ性状および硬化性状に及ぼすC-S-H系早強剤の効果

BASFジャパン株式会社	○井	元	晴	丈
		作	榮	郎
東京大学生産技術研究所		田	中	司
東京大学大学院		石	田	哲也

3302. C-S-H系早強剤を用いたフライアッシュコンクリートの冬期施工性の評価

株式会社大林組	○榑	原	直	樹
BASFジャパン株式会社		井	元	晴
東京大学生産技術研究所		田	中	泰
日本大学		岩	城	一
				郎

3303. 透湿防水シートを用いたコンクリートの表面気泡低減に関する基礎実験

山口大学大学院	○原	田	沙	里
山口大学		森	内	麻
五洋建設株式会社		前	田	智
山口大学大学院		吉	武	勇

3304. フライアッシュコンクリートの初期強度改善に関する基礎的検討

住友大阪セメント株式会社	○宮	蘭	雅	裕
		小田部	裕	一
鹿島建設株式会社		横	関	康
		曾我部	直	樹

3305. 早強性・低収縮性を両立したコンクリートの品質に関する一考察

鹿島建設株式会社	○関	健	吾	知
		高	木	英
住友大阪セメント株式会社		小田部	裕	一
		宮	蘭	雅
				裕

〈休憩 10:15~10:30〉

5月12日(木)

第1会場

10:30~11:45 コンクリート舗装

[研究発表 3106~3110]

3106. コンクリート舗装のすべり抵抗性に及ぼす配合条件の影響およびすべり抵抗性回復技術の検討

太平洋セメント株式会社 ○高橋英孝
岸良征竜
石田尾男
梶尾聡

3107. 廃瓦細骨材で内部養生した舗装用コンクリートの自己収縮に関する検討

一般社団法人セメント協会 ○中村弘典
吉本徹
太平洋セメント株式会社 谷村充一
広島大学大学院 佐藤良一

3108. 粗骨材の異なる舗装コンクリートのスケーリングに関する検討

国立研究開発法人土木研究所 ○加藤祐哉
森濱和正
古賀裕久
元 国立研究開発法人土木研究所 勝畑敏幸

3109. 異なるラテックス添加量がラテックス改質速硬コンクリートの耐久性および細孔構造に及ぼす影響

宮崎大学 ○李春鶴
鹿嶋大智
太平洋マテリアル株式会社 郭度連
山中俊幸

3110. 舗装コンクリートの圧縮強度による管理・検査に関する考察

国立研究開発法人土木研究所 ○森濱和正
古賀裕久

第2会場

10:30~11:45 耐久性(塩害・鋼材腐食)

[研究発表 3206~3210]

3206. 硫酸塩の作用を受けたセメント系硬化体における硫酸イオン移動性状に空隙構造および電気的作用が及ぼす影響

新潟大学大学院 ○佐藤賢之介
新潟大学 小根澤英之
齋藤豪彦
佐伯竜彦

3207. 塩害および中性化による鉄筋腐食がモルタル表面のひずみ挙動に与える影響

東急建設株式会社 ○前原聡
芝浦工業大学 伊代田岳史

3208. プレキャストコンクリート製品の高耐久化

千葉窯業株式会社 ○湯浅憲人
大野和義
デンカ株式会社 木村潤市
東京工業大学大学院 坂井悦郎

3209. 硫酸イオンとセメント水和物の反応がセメント硬化体の塩化物イオンの固定化性状に与える影響の実験的把握

東京理科大学大学院 ○直町聡子
東京理科大学 加藤佳孝
石塚拓海
小平薫也

*3210. コンクリート中の鋼材界面の環境が鋼材腐食の進行に与える影響

東京理科大学大学院 ○染谷望
東京理科大学 加藤佳孝
星芳直
板垣昌幸

〈昼休み 11:45~12:45〉

〈昼休み 11:45~12:45〉

第3会場

10:30~11:45 耐久性 (凍結融解)

〔研究発表 3306~3310〕

3306. Rを用いたコンクリート中の気泡の空間分布の簡易なシミュレーション

金沢大学	○山	本	瑞	希
金沢大学大学院	古	東	秀	文
	室	谷	卓	実
金沢大学	五十嵐		心	一

3307. 低水セメント比の配合における高吸水性ポリマーの凍害抑制効果

大分工業高等専門学校	○一	宮	一	夫
東北大学大学院	志	藤	暢	哉
大分工業高等専門学校	伊	藤	隆	紘

3308. セメント硬化体の凍結融解時における内部応力発生に関する一考察

北海道大学大学院	○堀	江		諒
	森	永	祐	加
	名	和	豊	春

3309. コンクリートのスケーリングに与える高炉スラグ細骨材の粒径の影響

岡山大学大学院	○藤	井	隆	史
	中	溝	内	翔
	山	内	野	守
	綾	野	克	紀

3310. 透水型枠工法による寒冷地コンクリートのスケーリング抵抗性について

八戸工業高等専門学校	○庭	瀬	一	仁
八戸工業大学	菅	原	永	隆
八戸市庁	月	藤	洋	一
	武	藤	拓	也

〈昼休み 11:45~12:45〉

5月12日(木)

第1会場

12:45~14:30 特殊コンクリート

[研究発表 3111~3117]

3111. 引張ひずみ破壊モデルを適用した火災時のコンクリートの爆裂解析

群馬大学 ○明石孝太
小澤満津雄
株式会社ピーエス三菱 藤本謙太郎
太平洋マテリアル株式会社 鎌田亮太

3112. 低水結合材比ペーストの練混ぜにおける粒子および水の凝集・分散挙動

住友大阪セメント株式会社 ○野村博史
東京大学大学院 野口貴文
住友大阪セメント株式会社 武藤貴彦

3113. 3成分系混合セメントを用いた高強度コンクリートの強度発現性状

住友大阪セメント株式会社 ○宮原健太
小田部裕一

3114. ビニロン短繊維補強高強度コンクリートの曲げ強度特性とスケーリング抵抗性

秋田大学大学院 ○梅原善隆
津元和洋
徳重英信

3115. 起泡剤を添加したポーラスコンクリートの基礎的検討

住友大阪セメント株式会社 ○竹津ひとみ
小林哲夫

3116. RI計器を用いたポーラスコンクリートの空隙率評価に関する研究

立命館大学大学院 ○中安新弥
川部良介
立命館大学 川崎佑磨
岡本享久

3117. 天然ゼオライトを骨材に用いたポーラスコンクリートおよびモルタルの凍結融解作用下での劣化挙動

秋田大学 ○佐川奈津子
秋田大学大学院 徳重英信

第2会場

12:45~13:00 委員会報告
コンクリート専門委員会

13:00~14:30 耐久性(塩害・鋼材腐食)

[研究発表 3211~3216]

3211. 秋田県沿岸部で17年暴露した供試体の塩化物イオン浸透量

秋田大学大学院 ○夏堀格
徳重英信
秋田大学 川上信洵

3212. 亜硝酸リチウム圧入工の鉄筋腐食抑制効果に及ぼす相対湿度の影響

宮崎大学 大寺稔 雅
○堀田成治
李春和 鶴
極東興和株式会社 江良和 徳

3213. Al添加率がC-A-S-Hの構造及び表面電荷に及ぼす影響

北海道大学大学院 ○小林創
小森永祐加
小山祐達
名和豊春

3214. Ca/SiがC-S-Hの構造及び表面電荷に及ぼす影響

北海道大学 ○吉田慧 史
北海道大学大学院 小林永祐加
小森和豊春

3215. CaO・Al₂O₃骨材の反応メカニズムに関する考察

デンカ株式会社 ○伊藤慎也
前田拓海
盛岡岳史
伊代田岳史

3216. CA系材料を用いたコンクリートの塩分浸透抵抗性の検討

芝浦工業大学大学院 ○伊藤孝文
デンカ株式会社 伊藤慎也
芝浦工業大学 伊代田岳史
増田卓司

(終了 14:30)

<休憩 14:30~14:45>

第3会場

12:45~13:45 耐久性 (凍結融解)

〔研究発表 3311~3314〕

3311. 凍結融解抵抗性、硫酸塩抵抗性および硫酸抵抗性に及ぼす高炉スラグ細骨材の影響

岩手大学 ○中村大樹
羽原俊祐
小山田哲也
岩手大学大学院 田中館悠登

3312. 凍結防止剤によるスケーリング現象に及ぼす冷却最低温度の影響とスケーリング温度

岩手大学大学院 ○田中館悠登
岩手大学 羽原俊祐
小山田哲也
岩手大学大学院 我満俊文

3313. スケーリング抵抗性を考慮したトンネル覆工コンクリートの配合に関する研究

岩手大学大学院 ○高橋慧
岩手大学 小山田哲也
羽原俊祐
中村大樹

3314. コンクリートのスケーリング劣化における凍結により発生する応力の影響

岩手大学大学院 ○樊小義
岩手大学 小山田哲也
羽原俊祐
中村大樹

〈休憩 13:45~14:00〉

14:45~15:45 耐久性(中性化・ASR)

[研究発表 3217~3220]

3217. セメントペースト中のセシウム移動における炭酸化および乾湿繰返しの影響

広島大学 ○重田 空哉
広島大学大学院 半井 健一郎
小川 由布子
河合 研至

3218. 材料及び環境要因がコンクリート構造物の炭酸化進行に与える影響

芝浦工業大学大学院 ○本名 英理香
芝浦工業大学 伊代田 岳史

3219. コンクリートプリズム試験で起きている現象と評価結果の解釈

国立研究開発法人国立環境研究所 ○山田 一夫
九州大学大学院 佐川 康貴
株式会社太平洋コンサルタント 小川 彰一
国立研究開発法人港湾空港技術研究所 川端 雄一郎

3220. A trial of image analysis to quantify the amount of alkali-silica gel formed in concrete prism test with alkali-wrapping

Tohoku University ○IGARASHI, Go
National Institute for Environmental Studies YAMADA, Kazuo
Taiheiyō Consultant OGAWA, Shoichi

第3会場

14:00~15:45 耐久性 (化学的浸食・溶脱)

〔研究発表 3315~3321〕

3315. 長期間硫酸浸漬したコンクリートの変質

広島大学	○坪	根	圭	佑
広島大学大学院	山	口	佳	紀
	小	川	由	布子
	河	合	研	至

3316. CaO-MgO-SiO₂系材料を大量使用し、オートクレーブ養生を施したセメント系硬化体の耐硫酸塩性評価

新潟大学大学院	○栗	山	友	之
新潟大学	斎	藤	豪	
	佐	伯	竜	彦
新潟大学大学院	佐	藤	賢	之介

3317. セメントペーストを用いたDEF膨張メカニズムの研究

株式会社太平洋コンサルタント	○小	川	彰	一
	青	山	弥	佳子
国立研究開発法人国立環境研究所	山	田	一	夫
国立研究開発法人港湾空港技術研究所	川	端	雄	一郎

3318. 放射性廃棄物を模擬したセメント硬化体からの溶出挙動に関する基礎研究

北海道大学大学院	○田	口	直	樹
シェフィールド大学	木	下	肇	
北海道大学大学院	橋	本	勝	文
	横	田		弘

3319. 乾湿繰返し環境におけるポーラスコンクリートからの溶脱に関する化学的分析

立命館大学	○川	崎	佑	磨
島根大学大学院	新		大	軌
阪神高速技術株式会社	吉	田	貴	保
立命館大学	岡	本	享	久

3320. 化学的侵食に対するけい酸塩系表面含浸材の塗布効果に関する検討

金沢工業大学	○大	溝	尚	英
	大	嶋	俊	一
	宮	里	心	一
富士化学株式会社	西	野	英	哉

3321. 高炉スラグ微粉末を利用した長寿命コンクリートの耐硫酸性

ゼニス羽田株式会社	○石	田	孝	太郎
NPO法人持続可能な社会基盤研究会	辻	幸	和	
	横	沢	和	夫

(終了 15:45)

ホテルメトロポリタン案内図

東京都豊島区西池袋1-6-1 ☎03-3980-1111

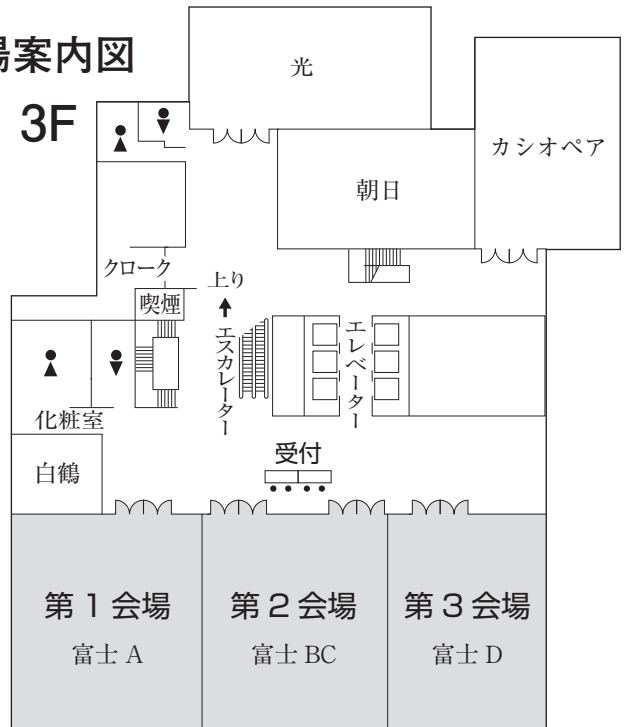
交通のご案内

池袋駅西口から徒歩約3分

- JR 山手線, 埼京線, 湘南新宿ライン
- 東京メトロ 丸の内線, 有楽町線, 副都心線
- 西武 池袋線
- 東武 東上線



会場案内図



セメント・コンクリート論文集 Vol.70 (2016年度) 論文募集のご案内

セメント協会では、セメント・コンクリート論文集Vol.70に掲載するための論文を募集いたします。「セメント・コンクリート論文集投稿要領」および「セメント・コンクリート論文集原稿執筆要領」をご高覧のうえ、ふるってご応募ください。

1. 論文の申込み

1.1 論文の申込み

セメント協会ホームページ [http://www.jcassoc.or.jp(イベント・募集>募集>セメント・コンクリート論文集)] から申込書ファイル (Microsoft Excel形式) をダウンロードし、必要事項すべてを明記のうえ、締切日までに「5. 提出および問合せ先 (事務局)」にE-mailの添付ファイルとして送信してください。

1.2 提出原稿 査読のための原稿4部 (「原稿執筆要領」を参照ください)

2. 論文投稿受付期間 2016年4月1日(金) ~ 5月31日(火) 17時まで

3. 投稿のための費用 無料

4. セメント協会論文賞

セメント・コンクリート論文集 (過去2ヶ年) に掲載された論文の中から特に優秀と認めた論文に対し、毎年『セメント協会論文賞』を授与いたします。

5. 提出および問合せ先 (事務局)

☎114-0003 東京都北区豊島4丁目17番33号 一般社団法人セメント協会 研究所 技術情報グループ

☎03-3914-2692 E-mail: jca_event@jcassoc.or.jp

セメント・コンクリート論文集の公開について

セメント・コンクリート論文集につきましては、Vol.68より、国立研究開発法人科学技術振興機構のJ-STAGE上での無償公開のみとなりました。

論文集をより広く公開することにより、学術誌としての認知度および利活用の向上に努めてまいります。